

活動成果報告書

令和元年度（第23回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

がん検診精密検査の受診を促す取り組み
～精密検査に行こう！大作戦～

グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名)
五條市 保健福祉センター 成人保健係
代表者：中井 麻子

勤務先：五條市役所
所 属：すこやか市民部 保健福祉センター
所在地：〒637-0036
奈良県五條市野原西6丁目1-18
TEL：0747-25-2631
FAX：0747-22-6585



◇活動方針

がんは2人に1人が罹患するといわれている。五條市でも胃がんのSMR(H24～28)は男性148.5女性127.2と全国、また奈良県内でも高く、女性の乳がんのSMRも111.4と高い値となっている。しかし、今やがんは早期発見できれば完治出来る病気である。五條市では、勇気を出してがん検診を受診しその結果、精密検査が必要と判断された時に、早期がんを見つけるチャンスと考えられるように支援していく為の活動を行ってきた。

五條市の過去5年の5がん精密検査受診率平均は、胃がん98.5%肺がん95.7%大腸がん71.9%子宮がん84.9%乳がん96.6%である。しかし、当市ではすべての精密検査未受診者に連絡を行い今すぐ受診出来ない理由を確認している。

特に乳がん集団検診では、精密検査未受診者を出さないため、受診者に対して全体で約20分保健師が乳がんについてミニ教室を行っている。

この教室で、保健師はがん検診の理解を深める為に以下の事を重点に行っている。



活動成果報告書

◇活動内容とその成果

教室の内容（乳がん集団検診時に実施 平成30年度は13回実施）

①乳がんの現状

罹患率・死亡率を何人に1人という具体的なイメージが出来るように、また罹患のグラフを使用しその多さを視覚でも確認できるように工夫。



②当日行う乳がん検診の説明
どのような方法で行うのか、マンモグラフィ検査の痛みや放射線についても説明を行い、初めて受診する方への不安や恐怖心を取り除く。

③自己検診の方法

市の乳がん検診の受診間隔は2年に1回であり、該当年に受診すると翌年1年間は受診出来ないのでは自己検診がとても大切であることを説明。この時自己検診のポイントを、図を使用しながら説明し、どのような点に気を付けて行うのかを分かりやすく伝える工夫を行っている。

④精密検査の意味

精密検査=がんというイメージを持つ人も多い。乳がん検診の精密検査は乳房の中に疑わしいところがあるので、詳しく検査する必要がありますという意味であることを伝える。伝えることで受診者に精密検査のイメージを払拭させ精密検査を受診しないという事がないよう、必ず受診する必要がある事を伝える。また、がん検診は100%の精度ではない事も同時に伝える。

⑤病院を受診すること

自己検診を行った時に違和感を覚えた時は、市の乳がん検診を待たずに医療機関を受診する。また、乳がんという事で婦人科をイメージする方も多々、乳がんは外科の領域という事の周知。

⑥定期的を受診することの必要性

乳がん検診は年々増加傾向にある。定期的な受診が早期発見につながる。市の検診でなくてもよいので必ず定期的な検診を行う。

⑦乳がん模型によるしこりの確認

しこりと言ってもどのようなものがしこりなのか、イメージ出来ない。その為、受診者全員に模型を渡し、しこりがどのようなものかを確認してもらう。

この教室を行うことで平成13年より五條市の乳がん集団検診の精密検査受診率も97～100%、ほぼすべての人が結果通知後3か月以内に精密検査を受診している。

「教室を受講して乳がん検診を定期的を受診しなければいけない理由がはっきりとわかった。」「こんなにも乳がんが増えてきているんですね」「初めて受けたけど、また受けなきゃという気持ちになりました」「受けてがんが見つかる怖さもあるけど、受けないとより怖いですよ」という言葉が聞かれ、がん検診受診者に対して教室の持つ意味は大きいと考える。他のがん検診についてもがん検診の待ち時

活動成果報告書

間に、がん検診が詳しく分かる DVD 見てもらい、その必要性について学ぶ機会としている。

がんの分析を行ってみると胃がんの SMR 以外に罹患率が高いことが分かっている。がんを早期に発見するためには今まで受診したことがない多くの市民が、がん検診を受診できるような環境づくりや、受診方法を検討し受診率の向上を目指し啓発していく。

また、この普及活動を有効的にするために、がん検診を受診し始める年齢 30 歳～50 歳をターゲットにし、この年代が集まる場所での PR を行う必要がある。令和元年度は、地域で行われるイベント 2 ヶ所、五條市が行う健康と福祉のフェスティバルで、保健福祉センターとしてのブースを確保し、そこでがん検診の PR (写真) を行った。



今後の計画

乳がん検診で行っているこの教室をベースに、乳がん以外のがん検診や精密検査受診の必要性が理解しやすいパワーポイントを作成中である。そのパワーポイントを使用し、地域での健康相談や健康教室等の少人数が集う場所でも乳がん検診の教室同様、観て、触って、体験できる啓発活動を行っていく。

また、市民に市の実情を知ってもらうために、毎年 3 月か 4 月の広報誌に、その年のがん検診受診率や精密検査受診率などの報告を掲載し、がん検診に関心を持つ機会としている。

がん検診受診率、精密検査受診率の向上には地道な啓発活動と、検診の必要性を根気よく分かりやすく説明することがカギになると考えている。

今後も、早期にがんを発見できるよう、勇気を出してがん検診を受診しその結果、精密検査が必要と判断された時が、がんを見つけるチャンスと考えられるように支援していく為の活動を行っていく。